

第6編 社会教育

第1章 社会教育の推進

第1節 概 況

新しい時代の要請に応え、多様な教育機関の連携・協力により様々な学習機会を提供するとともに、家庭教育支援施策の充実、少子高齢社会を見据えた学習機会の充実と社会参加の促進、家庭や地域社会における教育力の充実などを一層推進し、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進に努めた。

1 社会教育委員会議

当会議は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育法に基づき設置されており、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者10名で構成されている。

令和2年度は、定例会を7月24日に開催し、本県におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と、作成した地域学校協働活動ガイドブックの周知及び活用について協議を行った。また、3月17日の臨時会では、社会教育関係団体への補助金とこれからの地域づくりのあり方について意見を伺った。

第2章 成人教育の拡充

第1節 成人教育

1 ぐんま県民カレッジ

「ぐんま県民カレッジ」では、県教育委員会が提供する各種講座を主催講座、市町村や高校・大学、博物館等施設など連携機関が提供する講座を連携講座と位置づけている。

本年度は次の講座を主催講座として実施した。

(1) ぐんま県民カレッジ「オープンキャンパス」大学等出前講座

実施機関	講 座 名	受講者数
中部教育事務所	中 止 ※当初予定：エナジーカレッジ～力みなぎるLIFE	—
西部教育事務所 (動画限定配信)	地方創生 つなげる つながる まちづくり講座	29
吾妻教育事務所 (吾妻振興局)	「自分のオススメ本を紹介する」講座	34
利根教育事務所 (利根沼田振興局)	人生100年時代をどう生きる！～健康維持は食と体づくりから～	89
東部教育事務所 (動画限定配信)	気になる子どもへの理解と対応	30

(2) ぐんま県民カレッジ「地域の学校開放講座」

開設学校名	講 座 名	受講者数
太田工業高校	こどもロボット教室	10
尾瀬高校	群馬の自然に理解を深めよう～身近な自然環境について学ぶ～	10
吉井高校	上野三碑のお膝元・吉井高校連続講座～歴史文化と書	42

	道・陶芸に親しむ講座～	
前橋高等特別支援学校	ふれあい講座 生徒との交流を通して	4
沼田特別支援学校	もっとかがやく利根沼田～レザークラフト教室（かがやき工房）と童謡で楽しもう～	43

2 社会教育における人権教育

県民一人一人が、人権の意義やその重要性についての正しい知識や豊かな人権感覚を身に付けるとともに、真に人々の人権が尊重される地域社会づくりを目指し、群馬県人権教育充実指針に基づき、啓発や学習機会の提供、指導者の養成を図り、各種事業を実施した。

(1) 集会所等における人権教育推進事業

補助金 3,500千円 実施数 54か所 13市町村

(2) 人権教育指導者養成講座事業

委託費 1市町村あたり78千円 委託数 5市町村

(3) 人権教育指導者研修会

人権教育推進の中核となる指導者の資質向上のための研修として、各教育事務所の主管による人権教育指導者研修会を実施した。

第2節 家庭教育支援

家庭教育を社会全体で応援し、各家庭が主体的に家庭教育に取り組むため諸事業を実施し、家庭教育の充実・振興を図った。

1 ワクわく子育てトークング～ぐんまの親の学びプログラム～普及・実践

- ・「ぐんまの親の学びプログラム」を活用した講座を「ワクワク子育てトークング」を、県社会教育主事がファシリテーターとなり、要請のあった県内の学校、公民館等で実施した。（県内60箇所、参加者1,864人）
- ・ファシリテーター養成講座の実施。（中止）

2 ぐんまの家庭教育応援フォーラムの開催

家庭教育支援実践者による講演や現在地域で活動している家庭教育支援チームの取組などを参考に、関係者が家庭教育支援への具体的な取組について考え、実際に活動するための契機とした。（10月17日開催 参加者133人）

3 職場内家庭教育研修ファシリテーター派遣

「群馬県いきいきGカンパニー（所管：労働政策課）」認証企業が実施する職場内家庭教育研修会に、「ワクワク子育てトークング」のファシリテーターを派遣した。（派遣数2件）

4 家庭教育支援チーム

市町村と連携し、子どもの居場所づくりや体験活動に取り組む既存の団体等に対して「家庭教育支援チーム」の結成について研修会等で働きかけた。

文部科学省認定 家庭教育支援チーム登録数 令和2年度新規登録1チーム（計7チーム）

5 地区別家庭教育支援連携モデル事業

各地区における家庭教育支援の体制を整備し各団体等の連携した取組を推進するため、教育事務所単位で各団体等が連携したモデル事業を実施した。（3地区 29人）

6 地区別家庭教育支援連携会議の実施

保護者、祖父母世代、学校、地域活動団体、事業者等の関係者が、家庭教育の重要性を再認識するとともに、各地区における家庭教育支援の体制を整備し各団体等の連携した取組を推進するため、教育事務所単位で会議を実施した。（各教育事務所合計4回実施 参加者53人）

第3節 学校・家庭・地域の連携

1 放課後子ども教室

全ての子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせるよう、地域の方々の協力を得て、学校の余裕教室などを活用した多様な体験活動等（学習機会の提供、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動）の機会の提供を推進した。

実施：19市町村（60教室）

内訳：桐生市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、榛東村、下仁田町、南牧村、甘楽町、
中之条町、長野原町、草津町、高山村、片品村、川場村、昭和村、
みなかみ町、明和町、千代田町、大泉町

2 地域学校協働活動推進員等研修会

各教育事務所において、学校支援センターの一層の充実と活性化に向け、ボランティア活動を調整するコーディネーター等の養成や資質向上等を図るための研修会等を実施した。

主管事務所	実施日	参加者数(人)
中部教育事務所	9月5日	28
西部教育事務所	11月20日	70
吾妻教育事務所	中止（資料送付）	
利根教育事務所	8月6日	50
東部教育事務所	※11月～12月	30

※放課後子ども教室等訪問

3 地域学校協働活動（地域学校協働本部）

学びによるまちづくりや、地域課題解決型学習、地域人材育成、郷土学習、地域行事への参加、ボランティア・体験活動、学校周辺環境整備などの取組を、地域と学校が連携・協働して行う活動を推進した。

実施：7市町村（7本部）

内訳：沼田市、下仁田町、南牧村、中之条町、高山村、片品村、千代田町

4 地域と学校のパートナーシップ推進事業

各教育事務所において、子どもたちの地域と学校の連携・協働を促進するための講演会等を開催するとともに、社会教育主事による学校訪問等を実施した。

(1) 地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム

主管事務所	実施日	参加者数(人)
中部教育事務所	※7月30日～8月31日	420
西部教育事務所	※7月5日	180
吾妻教育事務所	中止（資料送付）	
利根教育事務所	中止（資料送付）	
東部教育事務所	中止（データ配信）	

※動画配信

※動画配信

(2) 社会教育主事の学校等訪問

中部教育事務所12回、西部教育事務所54回、吾妻教育事務所13回、利根教育事務所15回、東部教育事務所10回（計104回）

5 外部人材を活用した教育支援活動

民間企業・団体等を中心として多様な経験や技能を持つ外部人材等の参画により、特色・魅力のある教育プログラムを企画・実施する活動を推進した。

実施：10市町村（19箇所）

内訳：上野村、下仁田町、南牧村、甘楽町、嬭恋村、高山村、川場村、昭和村、
板倉町、千代田町

6 地域未来塾

学習が遅れがちな中学生等に対し、地域と学校の連携・協働による学習支援を行う活動を推進し

た。

実施：6町村（6教室）

内訳：下仁田町、南牧村、高山村、川場村、昭和村、千代田町

7 地域における家庭教育支援基盤構築事業

地域人材の養成や家庭教育支援チームの組織化等を行い、身近な地域における保護者への学習機会の提供や親子参加型行事等を実施することで、家庭教育支援を総合的に推進する活動を推進した。

実施：1村（1箇所）

内訳：榛東村

第3章 指導者の発掘・養成と活動の促進

第1節 社会教育行政職員の研修の充実等

1 社会教育行政職員研修

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 県社会教育主事等研修会 | 中止 |
| (2) 地区別社会教育主事等研修講座 | 363人 |
| (3) 図書館（室）職員実務研修 | 63人（動画配信） |
| (4) 社会教育推進セミナー | 162人 |
| (5) 市町村職員のための社会教育実践研修 | 31人 |

2 社会教育指導者研修

新任社会教育委員研修会 資料送付

3 視聴覚教育指導者養成研修

教育メディア指導者養成講座 修了者 5人

4 市町村の社会教育指導者の確保等

市町村における社会教育の充実を図るため、社会教育主事の養成・確保に努めるとともに、社会教育主事派遣事業を実施した。

(1) 派遣事業

社会教育主事特別派遣 6町村6人

(2) 社会教育主事養成事業

社会教育主事講習（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

講習期間及び受講者数

ア 7月27日～8月24日 3人

イ 1月21日～2月5日、令和3年7月8日～7月16日 8人

第4章 社会教育関係団体の育成

社会教育関係団体の社会的、公共的意義は極めて大きく、社会教育推進の原動力として果たす役割も大きい。しかし、一般的に、社会教育関係団体は財源基盤が弱いため、その自主性を尊重しながら、財政支援を行った。

第1節 補助育成団体

団 体 名	補助金額	団 体 名	補助金額
群馬県公民館連合会	150千円	群馬県特別支援学校PTA協議会	12千円
群馬県PTA連合会	140	群馬県国公立幼稚園・こども園PTA	
群馬県高等学校PTA連合会	80	連絡協議会	80
群馬県ユネスコ連絡協議会	80	群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会	50
日本ボーイスカウト群馬県連盟	230	(公社) 群馬県子ども会育成連合会	770
群馬県社会教育委員連絡協議会	80	(一社) ガールスカウト群馬県連盟	170
群馬県地域婦人団体連合会	550		

第2節 PTA活動

社会の変化に主体的に対応できる能力を養い、たくましく思いやりの心に満ちた児童・生徒の育成をめざして、家庭、学校、地域を結ぶPTA活動の活性化に努めた。

団 体 名	単位PTA数	事 務 局
県国公立幼稚園・こども園PTA 連絡協議会	67団体	太田市立藪塚本町南 0277-78-6089 幼稚園内
県PTA連合会	462団体	県生涯学習センター内 027-224-2816
県高等学校PTA連合会	81団体	県生涯学習センター内 027-223-3173
県特別支援学校PTA協議会	26団体	群馬県立前橋高等 027-225-1516 特別支援学校内
計	636団体	

1 PTA指導者研修会

PTA活動の充実発展と指導者の資質の向上を図るため、幼こ・小・中・特別支援学校PTAに関しては、教育事務所毎に地区別指導者研修会を実施した。

2 PTA表彰

児童・生徒の健全な成長をめざして会員が協力し、顕著な業績をあげているPTAに対し、その功労に報いるとともに、PTA活動の今後の発展に資するため、次の団体を表彰した。

(1) 県教育委員会表彰

○国公立幼稚園・こども園（1団体）

桐生市立桜木幼稚園PTA

○国公立小中学校（8団体：小学校5団体、中学校3団体）

前橋市立桃木小学校PTA、玉村町立上陽小学校PTA

高崎市立新町中学校PTA、安中市立秋間小学校PTA

嬭恋村立嬭恋中学校PTA、みなかみ町立古馬牧小学校PTA

邑楽町立高島小学校PTA、みどり市立笠懸南中学校PTA

○特別支援学校（1団体）

群馬県立館林高等特別支援学校 P T A

○高等学校（3団体）

群馬県立高崎東高等学校 P T A、群馬県立富岡高等学校 P T A

群馬県立桐生工業高等学校 P T A

○私立（1団体）

前橋育英高等学校保護者会

(2) 文部科学大臣表彰

前橋市立宮城幼稚園 P T A

高崎市立浜尻小学校 P T A

沼田市立沼田北小学校 P T A

第5章 社会教育施設の整備充実

第1節 市町村社会教育施設の整備

1 公民館

(1) 公民館整備状況（令和2年度末）

		市	町	村	計
設置状況	設置者数	12	13	6	31
	設置率（%）	100.0	86.7	75.0	88.6
	公民館数	170	29	10	209

(2) 優良公民館表彰

ア 県教育委員会表彰

前橋市粕川公民館

高崎市大類公民館

嬭恋村東部公民館

川場村文化会館

桐生市立相生公民館

イ 文部科学大臣表彰

前橋市下川淵公民館

邑楽町中央公民館

2 図書館

(1) 図書館の整備状況（令和2年度末）

		市	町	村	計
設置状況	設置者数	12	10	1	23
	設置率（%）	100.0	66.7	12.5	65.7
	図書館数	44	10	1	55

（注）公立図書館としては、他に県立図書館1館がある。

(2) 優良図書館表彰

ア 県教育委員会表彰

甘楽町図書館

イ 文部科学大臣表彰（※推薦は前年度）

みどり市立大間々図書館